

10月各研究会等案内一覧

(※神奈川県保険医協会が主催する全ての研究会には、(株)神保協が後援しております。)

<h3>10月4日(木)午後7時～9時</h3> <h4>歯科臨床研究会</h4> <p>Leavell&Clarkが「包括医療の概念」を提唱して50年が経過したが、歯科においても予防を中心とした包括的な診療体系が実践されるようになった。すなわち、歯科疾患のリスク評価とそれに対応すべき明確な「エビデンス(臨床疫学的科学的根拠)」に基づく予防管理が可能となっている。今回は、歯科疾患のリスク対応と予防方法のエビデンスとしてヘルスプロモーションの理念による歯科診療について考えてみたいと思う。</p> <p>ところ 協会の会議室</p> <p>テーマ 「歯科疾患のリスクと予防のエビデンス」</p> <p>講師 鶴見大学歯学部地域歯科保健学教室 教授 鶴本 明久氏</p> <p>定員 120名</p> <p>参加対象 会員(医療機関のスタッフ、ご家族も可) *日本歯科医師会生涯研修事業認定研修会</p> <p>お申込み 歯科部会 045・313・2111</p>	<h3>10月1日(月)午後7時30～9時</h3> <h4>地域医療学習会</h4> <p>県の歳出削減について協議する外部有識者会議「神奈川県臨調」は7月、「県有施設的全廃」、「市町村及び団体補助金の凍結」を打ち出した。黒岩県知事はこの内容について、積極的に来年度予算から反映する姿勢を見せています。県有施設とは、具体的には図書館や博物館など県民に身近な施設のほか、障害者施設等が含まれます。また廃止・削減の対象となっている補助金には、神奈川県地域医療に甚大な影響を及ぼす、休日診療所や精神科救急医療基幹病院、看護学校の運営補助費や、患者の受療権を保障する「重度障害者医療費助成制度」が含まれています。これらを経済効果のみで判断し、廃止・削減するのはあまりに乱暴であり、自治体としての役割放棄に他なりません。学習会では、自治体問題に詳しい小畑一氏をお招きし、神奈川県臨調から提言されている内容について、医療・福祉に焦点を絞って講演いただきます。</p> <p>ところ 協会の会議室</p> <p>テーマ 「県民の暮らしを破壊する神奈川県臨調」とは</p> <p>―地域の医療・福祉に与える影響に焦点をあてて―</p> <p>講師 神奈川県自治体問題研究所・常任理事 小畑 一氏</p> <p>お申込み 地域医療対策部 045・313・2111</p>
<h3>10月14日(日)午後1時～5時</h3> <h4>1日 で わかる 税務・労務セミナー</h4> <p>開業された先生方を対象に「税務・労務セミナー」を開催します。医院経営にあたって「これだけは知っておきたい」という情報を1日でお伝えするセミナーです。「税務講習」では、医院経営の実務、医療所得計算、スタッフの給与実務など、医院経営の基礎知識と、「労務管理講習」では、トラブル防止に繋がる職員の採用から退職までの知っておきたい知識、トラブル時の対処などをそれぞれ専門の税理士・社会保険労務士が詳しく解説します。</p> <p>ところ 協会の会議室</p> <p>講師 税務税理士 高橋 和宏氏 労働社会保険労務士 菅原 由紀氏</p> <p>参加費 テキスト代3千円(当日支払) (経営対策シリーズ2012:保険医の経営と税務)と「医院経営と雇用管理2010年版」を使用します。テキストをお持ちの方は、テキスト代は不要です。</p> <p>参加対象 院長・奥様・事務長</p> <p>お申込み 税対経営部 045・313・2111</p>	<h3>10月6日(土)午後3時～6時</h3> <h4>第10回 児童虐待予防対策研究会</h4> <p>児童を巡る痛ましい事件が後を絶たない中、子どもの外傷や言動から早期に児童虐待を見抜くスキルが、医師・歯科医師に求められています。また鑑別診断と並行し、速やかに適切な連携先を確保し、被害児を保護することも必要です。今回は、小児救急の現場で数多くの児童虐待の鑑別診断の経験をもつ北九州市立八幡病院・院長の市川光太郎氏をお迎えし、児童虐待の鑑別診断について、同氏が立ち上げに携わられた地域の基幹病院と開業医が連携する「児童虐待防止医療機関ネットワーク(北九州モデル)」についてご紹介いただきます。当日は、横浜市児童相談所が市内医療機関に対し行った「医療機関における児童虐待発見時の対応のアンケート調査も報告予定です。</p> <p>ところ 協会の会議室</p> <p>テーマ 「医師・歯科医師に求められる 児童虐待発見時の対応 鑑別診断と関係機関との連携」</p> <p>講師 日本小児救急医学会理事長 北九州市立八幡病院 院長 市川 光太郎氏 横浜市中央児童相談所 白木 富幸氏</p> <p>お申込み 地域医療対策部 045・313・2111</p>
<h3>10月13日(土)午後6時～</h3> <h4>臨床懇話会</h4> <p>ところ 協会の会議室</p> <p>テーマ 「肺がんを見落とさないための胸部単純写真と胸部CTの読影のセッション」</p> <p>講師 神奈川県立がんセンター 呼吸器内科 部長 山田 耕三氏</p> <p>当日のプログラム 胸部単純X線写真を一緒に見ながら ①読影の手順 ②肺がんを見落とさない読影、 ③肺がんを疑ったら、次の検査は?、④胸部CTの読影の実際、⑤質疑応答</p> <p>参加対象 会員限定(医療機関のスタッフも可) *日医生涯教育認定(2単位)講座CC「15」</p> <p>お申込み 研究部 045・313・2111</p>	<h3>10月12日(金)午後7時30分～9時</h3> <h4>医療問題研究会</h4> <p>厚生労働省の医療事故検討部会でいま全診療科にわたる医療事故調査会や補償制度の議論が重ねられています。また先行して発足した産科医療補償制度の見直しも軌を一にしており、所期の目的の産科医療崩壊の阻止とは逆に、紛争リスクの増大など多くの問題が露見しているにもかかわらず、棚上げし議論が進んでいません。この制度では不必要なカルテ提出の強要や原因分析報告書への反論権の否定など、人権無視も方々から指摘されています。また、レセプトデータベースの民間活用や、共通番号制を視野に入れた診療・健康情報の集約化と民間活用など、医療者として看過できない動きも起きています。更には患者の権利法策定から発展した医療基本法制定を巡る、患者、医療者の諸活動も活発化し、必然的にプロフェッショナル・オートノミーも課題となっております。このような情勢を踏まえ、医療者の人権を中心に据え、無過失補償制度の在り方、情報開示の考え方、プロフェッショナル・オートノミーの担保措置など、ご専門の見地から大磯義一郎氏に講演いただきます。氏は医師と弁護士両方の資格を持ち教鞭をとっております。</p> <p>ところ 協会の会議室</p> <p>テーマ 「医療者の人権 ―法と倫理の相違―」</p> <p>講師 浜松医科大学医学部教授 大磯 義一郎氏</p> <p>お申込み 政策部 045・313・2111</p>
<h3>10月25日(木)午後7時15分～</h3> <h4>特別研究会</h4> <p>ヒブ・肺炎球菌・子宮頸癌・ロタに続きポリオ不活化単独として四種混合ワクチンラッシュです。でもヒブ・肺炎球菌で死亡例が出たと聞いたけど?副作用は?接種時期は?間隔は?同時接種は大丈夫?今回の特別研究会では蘭部友良氏にこれらの疑問を掃いていただきます。もちろん具体的な接種についてもお話いただきます。</p> <p>ところ 崎陽軒本店会議室</p> <p>テーマ 「子どもを守るためのワクチンスケジュール ―ポリオを含む最近の話題―」</p> <p>講師 日本赤十字社医療センター 小児科 顧問 蘭部 友良氏</p> <p>*お弁当の準備がございます。ご出席の際は3日前までにお申込みください。 *日医生涯教育認定(3単位)講座CC「8」、「11」、「12」</p> <p>共催 神奈川県保険医協会/田辺三菱製薬 お申込み 研究部 045・313・2111</p>	<h3>10月18日(木)午後7時～</h3> <h4>第510回月例研究会</h4> <p>今年もインフルエンザワクチン接種の時期が参りました。今回は大阪大学医学部附属病院内の関文氏をお招きして、ご講演いただきます。</p> <p>ところ 崎陽軒本店会議室</p> <p>テーマ 「インフルエンザ対策 ―重症化に対する対応―」</p> <p>講師 大阪大学医学部附属病院 感染制御部 副部長 関 雅文氏</p> <p>*お弁当の準備がございます。ご出席の際は3日前までにお申込みください。 *日医生涯教育認定(4単位)講座CC「11」、「12」、「28」、「46」</p> <p>共催 神奈川県保険医協会/アステラス製薬(株) /デンカ生研 お申込み 研究部 045・313・2111</p>

協会行事においては、その模様を写真撮影し、記事とともに機関紙に掲載することがありますので予めご了承ください。